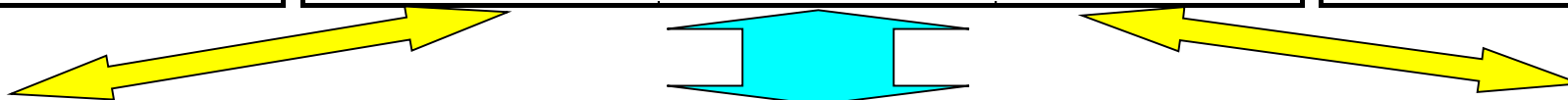


平成28年度 学力向上アクションプラン

A票

尼崎市立明城小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
○全国学力・学習状況調査からの課題 ・テストをすることに慣れていない。 ・最後まで集中して取り組むことが苦手である。 ・基本的な問題は理解できるが、それを活用した問題が苦手である。 国語→文章の読み取りと読解、条件を附加された文章を書く。 算数→時刻、展開図、割合、複合面積等、抽象度の高い問題 ○質問紙より ・自分には良いところがあり、自分の意見を主張できる児童は比較的割合が高い。しかし、読書体験不足、スマホ使用時間の約束等、基本的な生活習慣を定着すること。	○中学年の算数科等において、同室複数指導を中心として指導方法の工夫を行う。 ○授業改善アドバイザーと連携し、授業力の向上を図る。	○中学年の算数科等において、同室複数指導を中心とした指導を行い、学力定着を図る。 ○明城漢字ドリルの効果的な活用方法を検証し実践に活かす。	○管理職等の校内巡視をきめ細やかに行い、日々の学級経営について助言を行う。 ○体力向上につながる縄跳び大会やマラソン大会を行う。 ○全校児童で構成される「縦割り活動」を充実させる。	○全国学力学習状況調査において ・平均正答率を全国平均に近づける。 ・家庭学習時間において、全くしない児童を無にする。 ・全児童が家で学校の宿題をするようにさせ、できなかった児童には必ずさせるようにする。(教員で共通理解する)



校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
○夏季合同研修の実施 〈健全育成中学校区内での研修〉 ・生徒指導 ・教科間連携 ・特別支援教育(地区交流会等を利用)	支援内容	具体的内容	○幼稚園・保育所等と小学校の連携 ・情報交換・行動観察等をきめ細やかに行い、幼保小のスムーズな連携を行う。 ○家庭学習の精選による学習習慣の定着 ○学力調査結果の公表
	(1)アクティブ・ラーニング推進支援	・低中学年からそれぞれの1授業に講師を招聘し指導助言を受け、アクティブラーニングを取り入れた授業改善を行い、児童の主体性を養い、授業力向上をめざす。 ・2月に市内に向け公開授業を実施する。	
	(2)先進校視察支援		
	(3)授業補助支援	・中学年を対象として、児童が主体的に学ぶための補助的役割を同室複数授業の中で行う。個別の支援・即時評価等、きめ細やかな指導を行い児童の学習に対する意欲を高めることで主体的・協同的な学習を推進する。	
	(4)放課後等学習支援		
	(5)学力定着支援	・家庭学習習慣の定着や漢字力向上のため、六年間で学習する漢字を活用し、明城小校区にちなんで「明城漢字ドリル」を作成し、活用する。週一回明城漢字検定を実施し語彙力の定着を図る。	
	(6)地域人材活用支援		
	(7)その他		